



国際交流員

ロボートのコラム

Vol.2

「ウサギとタマゴについて」

●問＝地方創生課 Tel 23-1148

みなさま、Fröhliche Ostern！今年は4月18日（聖金曜日）～21日まで、イースターが祝われました。これはイエス・キリストの磔刑と3日後の復活を記念するキリスト教の祭りで、教徒に限らずドイツ全国の祝日となっており、家族と一緒に過ごしたり、ごちそうを食べたりして祝います。

「イースター」と聞くと、復活の話よりも「ウサギ」や「イースターエッグ」を思い浮かべる人が多いのではないのでしょうか。ウサギがカラフルな卵を隠し、子どもたちが探すという遊びは、どこでも行われています。大人になった私には、いろいろな疑問が浮かんできます。どうして卵を集めて、染めて、そして隠すの？そもそも、なぜウサギなのか？卵を奪うなんて、キツネかタヌキっぽくない？ウサギがかわいいから、許しやすいのでしょうか？調べたところ、やっぱりちゃんと筋の通った話がありました。

キリスト教が広まる以前、現在のドイツ地域では春祭りを祝っていました。春は冬が終わり、世界が



再び目を覚ます季節ですね。祭りでは、「生殖」や「再生」を象徴する神様が祀られ、神様と繋がっているのが、「ウサギ」と「卵」。「すばやい繁殖」と「命」の象徴というわけですね。

その後キリスト教が広まる際、新しい宗教を受け入れやすくするために、伝道者たちは元々の風習とうまく融合させました。こうして、キリスト教の復活祭にもウサギと卵が取り入れられ、ウサギが卵を隠すという風習が生まれました。

でも、なぜ染めるのか？一つは、春は明るい色を連想します。ピンクや黄色など。子どもたちが復活祭に興味を持てるように、遊びとして卵を染めたりするのです。今では、卵だけでは物足りず、お菓子もたくさんもらえるようになりましたね。

日本のひなた宮崎国スポ・障スポ 小林市の話 Vol.2
KOBASPONEWS

国スポ開催まで **847** 日 障スポ開催まで **874** 日 (6月1日時点)

▼ホームページ



▼Instagram



国スポ・障スポ情報
発信中！



●問＝国スポ・障スポ推進室
Tel 27-3325

Topic 01 小林秀峰高校生5人が制作した カウントダウンボードを紹介！

市内の機運醸成のために小林秀峰高校の生徒5人が制作したカウントダウンボードをKITTO小林内のバスセンター入口に設置しています。

市内での実施競技が一目で分かるデザインで、大会までの残り日数を電光掲示板で分かりやすく知らせてくれます。ぜひ一度見に来てください！

【制作の様子】



Topic 02 オリジナルのネクストラップ やポロシャツで広報・啓発！

市職員の名札に使用する国スポ・障スポ仕様のネクストラップや、市内実施競技が描かれたオリジナルポロシャツを制作しました。今後、オリジナルグッズの着用を市役所全体に広げ、大会を盛り上げていきます！

